

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/12/01 ～ 2018/12/31)

### 1. 勉学の状況

1月にある期末テストが近くなり、慌ただしくなってきた。現地学生は日頃から長時間勉強しているが、一層寸暇を惜しんで勉強している。

#### ・語学科目（中国語スピーキング）

同級生は韓国人が最も多く、アジア人と白人の割合はほぼ同じくらいである。日本人以外のほとんどは中国語専攻である。そのためやる気に満ち溢れており授業で行うプレゼンもとても上手である。

授業は進度が早く、新出の単語やイディオムを沢山覚えなければならない。

#### ・専門科目（法律・政治）

期末のため、授業終了が早い授業では授業のまとめや学生の発表を行っている。院生向けの授業では学生の発表もとても高度である。

### 2. 生活の状況

寒さが厳しくなり、昼間でも零下7度まで下がるようになってきた。しかし室内は暖気という温水で部屋を暖める集中暖房が入っているため、東京よりも過ごしやすい。

上海とその周辺にある杭州と南京に旅行に行った。



上海の外灘 旧外国租界

上海は北京と比べて街の様子が東京に近く、住みやすいと感じた。友人は北京よりも上海に留学に来れば良かったと言っていた。外国租界時代の名残が強く残っていて、シャンゼリゼ通りかと思間違えてしまう道もあったりした。